

家庭でルール作りを

吉備公民館
非行防止講習
住民ら対策学ぶ

県が2014年度の学校区の保護者や地域、岡山西署の少年補導新規事業として取り組む。住民ら約80人が、学区員が、県内の少年非行率12年連続で全国最悪となっており、中でも万引や自転車について学んだ。



家庭でのルール作りについて話し合う参加者

車盗が目立つことを説明。同学区でも春先から未成年の検挙や補導が増えているとし「普段から善悪の判断を教えてほしい」と呼び掛けた。

続いて、NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせんの赤迫康代代表(50)が、規範意識の育て方を考えるワークショップを開催。参加者は5人1組で家庭でのルール作りについて話し合い「親子とも納得してルールを決めるべき」「一度決まりを作ったら、ぶれてはだめ」などと発表し合った。

講習会は6月から行われており、県内で300カ所程度で実施する予定。(大島望)

・子ども達の環境を考えるひこうせんの赤迫康代代表(50)が、規範意識の育て方を考えるワークショップを開催。参加者は5人1組で家庭でのルール作りについて話し合い「親子とも納得してルールを決めるべき」「一度決まりを作ったら、ぶれてはだめ」などと発表し合った。

吉備中PTA会長の山崎貴彦さん(45)は「家庭で話し合う大切さを感じた。しっかり子どもと向き合